

事業名称：福岡に住む外国人のためのエンパワメント日本語教育事業

事業の目的

外国人が常に支援される立場ではなく、対等な立場でコミュニケーションでき、年齢に応じた社会生活を行うための日本語習得。
社会の中で自らの能力・個性を発揮できる日本語能力とコミュニケーション能力を身につける。

日本語教室 たのしく生活するためのハッピー日本語ひろば

①読めたら便利！文字学習

生活に必要な簡単な案内、標識が理解できるようになる

①身近な標識・案内、自宅周辺の地名を講師のクイズや町歩きなどを通して楽しく学習！レシートの見方も理解できるようになりました！

②福岡で暮らすための日本語

標準的なカリキュラム案をもとに指導。買い物、移動、地域行事参加など体験授業を含む⇒教材作成

②買い物と移動のための日本語を習得でき、日本語と話そうとする学習者が増えました。福岡の文化・方言と大のこころで、地域に愛着を感じはじめ日本語学習のモチベーションもUP!!

③学校を楽しくする日本語：子ども向け

友達との会話、教室用語ができるようになる。簡単な方言、教科書の日本語が理解できるようになる

④親のための日本語

学校との連絡、連絡のための読み書き、日本の学校と教科書を理解する。

③日頃学校で感じている緊張から解放され、気軽に日本語や学校のわからないことが聞ける。日本語能力、学力の向上につながっている。来日する学習者は表情が週ごとに明るくなっている！

配布物の読み方、行事に必要な物を知り、子どもと親が知らないための不安やストレスを減らすことを目標にする。

⇒教材作成：学校事情、配布物の読み方、学校への電話のかけ方、提出用紙など1回×(60分～90分)の教材。それを使い授業を実施。

⑤未来のための日本語：中学卒業程度認定試験、高等学校卒業程度認定試験、高校受験対応

⑥たのしく会話するための日本語：会話力向上を目指す

受講者の人数 77 人（出身・国籍別内訳）

アメリカ1人、ドイツ1人、アルゼンチン1人、パキスタン1人、インドネシア1人、マレーシア2人、タイ2人、エジプト7人、フィリピン8人、ベトナム8人、韓国24人、中国20人、その他1人

日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

外国人が学ぶ日本語指導者養成講座

日本語能力2級以上の外国人が、来日間もない外国人に生活に必要な日本語を教えることができるようになること。呼び寄せ家族の子どもへの日本語指導、学校への橋渡しができるようになる。

回	開講日時	参加人数	研修のテーマ	授業概要
1	平成24年1月22日 10:00～13:00	12	日本語教える入門①	教える前に知っておくこと/自己紹介、自分の日本語学習経験発表、学習者についての情報(ニーズ、状況、授業計画の立て方)、教師としての知識(文法構造、発音とアクセント、日本の文化的知識)、何をどう教えるか
2	平成24年1月29日	14	日本語教える入門②	①初級の授業活動の実践 ②初級の整理(間違えやすい文法)
3	平成24年1月29日	12	日本語教える入門③	①初級の授業活動の実践/学習者のニーズと教材について
4	平成24年2月5日	11	初級の整理	①特選表現、授業表現の整理と教え方
5	平成24年2月5日	14	日本語教える入門④	①場面でおける、文法で教える ②漢字の教え方
6	平成24年2月12日	12	初級の整理	①自動詞・他動詞・動詞の復習と教え方
7	平成24年2月12日	13	教えるワークショップ	①文字指導について ②二語習得の準備(指定課題)
8	平成24年2月19日	13	日本文化や習慣	日本の習慣や文化について
9	平成24年2月19日	14	教えるワークショップ	①二語習得の準備(自由課題)
10	平成24年2月22日	14	発表・まとめ	①二語習得授業と批評員証書

※卒業生について

・前期日本語の受講生は本年度のインタビューを参考に自動詞他動詞や授受動詞などだったが、その点をクリアしている受講生は遠隔地と聞いていたようであった。自分のためだけでなく後進のために役立つポイントを教えることを伝える工夫が必要であったかもしれない。



日本語教育のための学習教材の作成

福岡でたのしく生活するための学習教材

対象 福岡に来て間もない外国人
目的・目標 多様な簡単な方言の理解と、年齢に応じた日常生活と生活圏内の移動ができるようになる教材の作成

構成 地域編：ようこそ福岡へ(福岡市の紹介、地図、有名な場所、年間行事、交通)自己紹介の日本語、移動のための日本語。(地下鉄路線図、多言語パンフレット)
練習例題：博多井筒紹介 買い物をする/練習 電話をかける/練習
学校編：日本の学校事情1.1、学校の年間行事、学校からの配布物、学校への連絡



外国人が学ぶ日本語指導講座
(人材育成)

地域を知る
(講座・教材)

就業サポート
NGO、行政
社会への貢献
日本語学習を活かす
日本人の
大学生や若い世代への
ロールモデル
活動の場
多様な経験・能力
講師依頼
日本語ボランティア
就業へ
起業サポート

日本語教室

働く10代の日本語学習

多様な背景

ポイントを知る
単発でも発展できる

法律講座 危機会

和分相談 外国人対象 NGO

親

年少者の
日本語学習
支援

生活言語と学習言語

日本語学習と学生ボランティアとの関
(教室)

日本語学習と教科学習

進路への不安

進路ガイダンス

学校文化の違い
戸惑い・疎外感

同世代との日本語教室・教科の学習

日本語教師、学生ボランティア、母語OK、
(日本語) (教科、あそび) 学生ボランティアのつながり
学校以外の出会いの場、日本の高校、大学生活をイメージできる

学校について
情報不足

学校を知る
(講座・教材)

日本語教室

日本語
学校用語
連絡
配布プリント

H24
2012年度実施

YWCAが「できること」
YWCAで実施すること

いつでも誰かいる、行く場所がある。
中居場所つくりへ

日本語教師養成講座・ブスシニア講座

交流の場
出会いの場
バザー
季節イベント

地域との関わり
少ない
限られた
コミュニティでの
生活

入学説明会
情報収集
提供

福岡YWCA



J&K 平和のメッセージ



ピースウォーク

日韓ユースボランティアキャンプ 毎年夏



♥ ハッピー・スタイル 毎週土曜



日本語を母語としない子どもたちの 学習 サポート

平和

憲法9条を平和の礎に、武力によらない平和を目指します。世界の仲間との出会いが待っています。平和への一歩はあなたからはじまります。

国際

世界の仲間が活躍です。世界の仲間と出会い、アクションを起こしたり、自分の暮らしを見直します。

多文化

いろいろな文化や価値観があることを出会いの場を通して理解し受容する力を育みます。

女性

女性であることを理由に弱い立場に置かれることなく、本来持っている力を取り戻すための様々な取り組みを行っています。

子ども

子どもの人権が保障され、可能性と個性が発揮できる社会を目指して活動します。

学び

誰もが安心できるよりよい社会を形成するために、様々な講座やプログラムを企画します。



日本語学習 & 学校の宿題がはかばかします

平和サイレントアピール



を 毎月1回静かなアピール継続中



子育て支援 ポップコーンくらぶ

親子でアート

震災支援プログラム
↓ のんびりキャンプ

ほーいー



のんびりのびのび 外でも遊ぶよ



ママもゆるりリラックス



子ども日本語支援から広がった 2012年度(H24)

生活者日本語教育事業 エシパワメント日本語教育事業

外国人労働者日本語指導員養成講座

Handwritten notes on a yellow background:

- 働く10代の日本語習得
- 多様な背景
- 生活言語と学習言語
- 日本語学習と教科学習
- 進路への不安
- 年少者の日本語習得支援
- 教科の学習

福岡YWCA

Poster titled "for peace women children" with various images and text:

- 平和 (Peace)
- 女性 (Women)
- 国際 (International)
- 多文化 (Multicultural)
- 平和サイレントアビリティ (Peace Silent Ability)
- 日本語学習と学生生活の支援 (Support for Japanese language learning and student life)

①公益財団法人福岡 YWCA



